



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 収52-1111 発行 11月20日 No. 218

町民憲章

(昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ：鳥 ホオジロ：木 イチョウ

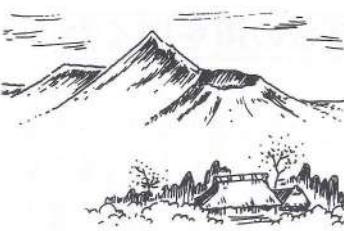


奴踊りに挑戦

郷土芸能を通じて三股町の良さを再認識しようと三股小の6年生(222名)が運動会で“奴踊り”に挑戦しました。

この奴踊りは、新馬場棒踊りの後山として踊られるもので、子供たちの勇壮活発な踊りに観客から惜しみない拍手が送られていました。

62 / 11月号



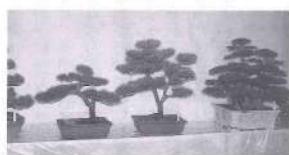
福祉バザー



芸能発表会



6地区盆栽展示会



7地区菊展示会



健康相談コーナー



三股町文化祭

町文化祭は、11月1日から3日までの3日間、勤労者体育センターを中心会場として盛大に開催されました。

商工会商品即売会



各種展示会



同少年団は、昭和五十二年の結成以来、沿道や公園等の清掃、緑化推進ボスターの作成、果箱の取付などさまざまな環境美化活動を行っています。このボランティア精神は、他の模範とするものです。

氏は、二十三年もの長い間山新土地改良区の理事として活躍され、この間、沖水川中川原第二堤堰をはじめ多くの土地改良施設の整備や財務の健全運営に尽力され、本町農業の振興発展に多大の貢献をされました。

勝岡みどりの少年団

玉利祐成氏(71歳)

功労賞(産業部門)

玉利祐成氏(71歳)

氏は、昭和四十四年に陶芸の道に入り修業を積んだ後、昭和五十一年に生楽陶苑を開業、以来伝統ある焼物作りに専念されています。

各種展示会



文化賞1名、功労賞8名

善行賞1団体が受賞



三股町表彰式

文化賞(芸術部門)

園田一成氏(38歳)

氏は、昭和四十四年に陶芸の道に入り修業を積んだ後、昭和五十一年に生楽陶苑を開業、以来伝統ある焼物作りに専念されています。

無類の研究熱心家で、県美術展や宮島美術展で特選を受賞されたばかりで、多くの展覧会で数々の賞を受賞されており、その技法・技術は県内外で高く評価されています。

また、各種陶芸教室を開設して

(受賞順)

功労賞(行政部門)

大盛益夫氏(60歳)

吉行集氏(53歳)

内村利男氏(73歳)

中西重光氏(71歳)

四氏は、多年にわたり町議会議員として活躍されました。この間、副議長(中西氏)をはじめ各常任委員会委員長、監査委員等を歴任して卓越した政治手腕を揮され、地方自治の振興発展に多

功労賞(行政部門)

川野義治氏(67歳)

假屋哲夫氏(73歳)

山元重秋氏(63歳)

三氏は、農業委員として多年にわたり活躍されました。この間、公正な農業行政を基調として農地の有効利用や農業の経営合理化、農業従事者の経済安定等に尽力され、本町農業の振興発展に多大の貢献をされました。



受賞者記念撮影

三股町の発展に貢献された方々を顕彰する昭和六十二年度表彰式が、十一月三日の「文化の日」に中央公民館で挙行され、文化賞で一名、功労賞で八名、善行賞で一団体が表彰されました。表彰式には町三役をはじめ町議会議員、教育委員、農業委員、地区公民館長など約七十名が参列し、全員で町民憲章を朗誦した後、受賞者の功績紹介と表彰が行われました。

その後次々に祝辞が述べられ、最後に受賞者を代表して長田園田一成氏(文化賞)が「私たちは与えられた任務を遂行してきました。この感激をひとつ契機として、町勢発展のため微力ながら尽力したい」と、お礼を述べられました。なお、受賞者は次の方々です。

陶器作りの普及にも努められており、本町の文化水準の向上に大きく貢献されておられます。

大の貢献をされました。

思います。
最後に、もう一つ、人に信頼され
るためにには、思いやりの心を持
つことだと思います。いじめについて
例をとれば、自分で、いじめ
はいけない、いじめを見たら音を立
てようと言っているのに、実際は
いじめを見て見ぬふりをしたり、
平気で人のいいやがることをしたり
言ったりする人がいます。人の非
しむ気持ちやつらい気持ちがわから
り、相手の身になって考えること
ができる思いやりの心がある人は
みんなに尊敬され信頼されるこ
とでしょう。ぼくもぜひ、そのよう
な思いやりの心を持ち続けたいと
思います。



三股小6年
黑木優子

郷土にしたい

行動力と責任感を身につけるようにしたいです。それは何事にも積極的に取り組み、自分に与えたされた仕事を途中で投げ出したりしないようにすることです。

頼られる人になることはたいへん
だなあと思います。
しかし、生きていくには、人に
信頼されない人よりされる人の方が
が幸福だと思います。ぼくは、た
いへんだけがんばつていいこうと
思います。

本はたくさんあっても、たいへん騒がしくなるなくて、とても落ち着いて本を読むところではあります。せんでした。さっとこんなにすれば、優しい図書館があるのは、責任感のある人たちが大せい住んでいましたからだなあと思いました。

通りがかった人の中で、「精がでますね。」とか「ご苦勞様」と言つてくれた人がいたそうです。その人は、みな年をとった人ということでした。

きっと長いこと三股町に住んでいる人のなのでしょう。知らない人に

うが大せい住んで
こ、思いました

通りがかった人の中で、「精がでますね。」とか「ご苦勞様」と言つてくれた人がいたそうです。その人は、みな年をとった人ということでした。

きっと長いこと三股町に住んでいる人のなのでしょう。知らない人に

になると思います。しかし、その決まりやルールを平気で守らない人や、つい決まりを破って人に迷惑をかける人がいます。

そして、良いか悪いか判断し、よりのことをよく考えて行動できるようになればすばらしいと思います。

ます。世の中のルールを守り正しい判断力を持って生活したいと思ひます。

小さなことかも知れませんが、学校でのこのよう簡単な決まりをしつかり守っていくことが、社会のもっとたくさんで、もっと大切な決まりやルールを守っていくことにつながるのです。これから卒業までの間に少しでも良きふるまいに努めていきたいです。

児童・生徒8名が意見を発表

子どもの声を聞く会



音頭發表者記念撮影

成町民会議(川畑健一
会長)が主催する「子どもたちの声」を聞く会が十一月三日中央公民館で開かれました。これは、子どもの描く人間像や家庭生活、学校生活、友人関係などについて曰ごろ考えていることや、その授業についての意見を聞くものであります。

開く会には田三役をはじめ関係機関、団体などから約八、十名が三股出席。発表した児童・生徒は三股小学校からは二名ずつ、他の小学校からはそれぞれ一名で、日ごろ感じていること、考えていることを切実に訴え参加者に深い感銘を与ました。

なお、意見発表者は次のとおりです。(敬称略 発表順)



三股小 6 年
下 石 暬 彦

園児とお年寄りが交流会



お手玉づくりを学ぶ

わかば保育園は、このほど老人ホームのお年寄りを招き、昔から伝承されてきた遊び道具作りに取り組みました。これは、お年寄りとのふれあいを通じて子供たちの創作意欲を高めるのがねらい。おばあちゃんと一緒に竹馬や竹ボックリを作つもらつた後、遊び方の手ほどきを受けました。

終了後は、誕生会を兼ねた昼食会が開かれ、園児たちとの交流に涙ぐむお年寄りの姿も見られました。



このほど保育園は地域のお年寄りが園児一人ひとりにゲートボールの手ほどきをした後、芝生に弁当を広げ楽しい一日を過ごしました。

真のスポーツマンをめざして講演会 ソフトボール協会



(会長野中功)は、先

月ソフトボール協会員三千名が参加し、内化センターで開催された第三十回

県PTA大会で、三股中PTA(会長山元勝博)が表彰を受けました。

これは、校外補導活動や生徒会との協同による「あいさつ運動」への取り組みが評価されたもの。

大会は、二十世紀を創造する国際的広い視野をもった子供の育成に努めようをスローガンに、県内のPTA会員三千名が参加し、



パネル討議や「わたしが見た日本」と題した中国人留学生による記念講演などが行われました。

これは、心、技、体を兼ね備えた真のスポーツマンを育成する目的。研修会には、各チームの監督やコーチなど約八十名が参加。山口町の安楽寺住職佐々木芳磨氏が「スポーツと人間性」をテーマに講演され、参加者は熱心に聞き入っていました。

消えたかな♪気になるあの火もう一度



ハイキング大会

金婚式を迎えたご夫婦をお祝いする表彰式が、十月二十七日老人福祉センターで開かれました。式には昭和十二年に結婚されたご夫婦二十一組が出席。それぞれ慶祝状と記念品が贈られた後、社会福祉協議会会长の桑畠町長が、「結婚五十年おめでとうございました。これからも仲良く元気で、



夫婦そろって百歳まで長生きしてください」と祝辞を述べました。その後、昼食会や踊りなどがあり、ご夫婦は楽しい一日を過ごしました。

金婚式を祝う



老人クラブ大会

町老人クラブ大会は、去る十月二十六日町体育館で盛大に開かれました。この大会は、老人を取り巻く問題を認識し、充実した老年期を過ごすよう毎年開かれているもの。老人クラブ綱領の朗誦や会長挨拶が行なわれ、参加者は心を和ませました。

その後、アトラクションとして民謡や舞踊の披露、三味線演奏などが行なわれ、参加者は心を和ませていました。



— いも掘りを楽しむ —

町SAP会議(会長大村福)は、このほど町内の保育園児を招いて「いも掘り大会」を開きました。これは園児たちに、土に親しみ、収穫の喜びを味わってもらうため毎年開いているもの。花見原の畑に約二百名の園児が集まり、ピストルを合図にいも掘りを開始。手を真っ黒にながら大きな歓声をあげています。終了後はいもの大きさ、長さ、形などの審査が行われ、十名の園児が賞を受けました。



今月の納税

固定資産税3期

税金は滞納しない
よう早めに納入し
ましょう

草留千枝子

福重 美義 萩池一四七六番地
桑畠 愿 樺山一一二八番地
草留千枝子 樺山一五一五番地七
五二一四〇九九

人権週間にについて
十二月四日から十日までの一週間は、人権週間です。
人権が侵されたり、侵されるおそれがあるとき、いじめ・体罰その他家庭内の問題、借地、借家、登記などいろいろなことでお困りの方は、お気軽に人権擁護委員にご相談ください。

(人権擁護委員)

おしらせ

公給領収証を
受け取りましょう!!

十二月は、公給領収証完全交付・

料理店やバー、飲食店、旅館などを利用された場合、料金等に応じて「十巴」の料理飲食等消費税が課税されます。この税金は、飲食店などの経営者がお客様から料金の支払いを受けるとき、県に代わって受け取り県に納めるしくみになっていきます。

従って、飲食店などの経営者はお客様から税金を預かっただしとし、県が作成している公給領収証を、お客様に渡すよう義務づけられています。

この公給領収証は、皆さんの支払った税金が正しく県に納められるために必要なものです。必ず受け取るようにしましょう。

自衛官(二等陸、海、空士)を募集しています。

年齢十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する者で、学校教育法に定める中学校卒業程度の学力を有し、かつ、自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者。

白衛官募集

詳しいことは、役場総務課、または自衛隊宮崎地方連絡部都城出張所(TEL上三一三九四四)へ。

一般寄付

小牧 静雄さん 一万円

永井 政寿さん 二万円

中元連合大元出し 十万円

(代表 桑畠文雄氏) 二万円

小牧さんと永井さんは金婚式表彰に係る祝金を、中元連合大元出し

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいたしました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉のために有意義に利用させていただきます。

昭和六十二年十月一日から昭和六十二年十月三十一日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
谷口 彩治母	スミエ	東原	三内	二万円
常村 信 雄母	シズエ	春池	二万円	二万円
山元 尚 夫妻	マサル	下新	三万円	五万円
別納 まこと	秀則	宮田 保 郎(又) 保 雄	高橋 マス(夫) 廣 友	一万円
五万円		木代 伸一	木代 オサム(夫) 重一	一万円
		時 任 ナオ(夫) チエ	時 任 ナオ(夫) チエ	一万円
		白 尾 幸 江(母)	白 尾 幸 江(母)	一万円
		中 米	中 米	一万円
		桑 畑 藤 恵(母)	桑 畑 藤 恵(母)	一万円
		下 新	下 新	一万円

三股町の人口

昭和62年11月1日現在

人口19,517人 出生20人
男 9,206人 死亡12人
女 10,311人 転入85人
転出80人

世帯数 6,273戸

前月比 +13人



大元出しの益金を寄付される商工会長